

## 2019年FIA-F4選手権シリーズ第1大会 参戦報告書

## 2019年FIA-F4選手権シリーズ

## HFDP参加選手レポート

## 第1大会(第1戦/第2戦) 参戦レポート

4月13日(土)~14日、岡山国際サーキット(岡山県)で2019年FIA-F4選手権シリーズ第1大会(第1戦、第2戦)が開催されました。HFDP(ホンダ・フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト)からは#5 三宅淳詞(HFD P/SRS/コチラレーシング 1999年3月17日生まれ 20歳)、#6 太田格之進(SRS/コチラレーシング 1999年6月18日生まれ 19歳)、#7 佐藤蓮(SRS/コチラレーシング 2001年8月5日生まれ 17歳)の3人が参戦しました。#8 小山美姫(#USLETE Honda Racing 1997年9月5日生まれ 21歳)はWシリーズ合同テスト参加のため練習走行後に渡欧し今大会は欠場しました。

## 佐藤と三宅が連勝でシリーズ発進。

## ■公式予選(30分間): 天候/晴れ 路面/ドライ



土曜日午前8時5分からの公式予選は晴天の下で始まりました。30分間のセッションの結果、第1戦ではポールポジションを2年目の#7 佐藤が獲得、フロントロー2番手にはルーキーの#6 太田、セカンドロー3番手にはルーキーの#5 三宅が続き、第2戦ではルーキーの#6 太田がポールポジションを獲得、2番手に#7 佐藤、3番手に#5 三宅と並んで、2レースともHFDPの3選手がスターティンググリッド上位を独占しました。

## 第1戦公式予選結果

予選1位 #7 佐藤蓮選手 1分32秒817  
予選2位 #6 太田格之進選手 1分32秒876  
予選3位 #5 三宅淳詞選手 1分32秒908

## 第2戦公式予選結果(タイムアタックのセカンドタイム順に決定)

予選1位 #6 太田格之進選手 1分32秒905  
予選2位 #5 佐藤蓮選手 1分32秒910  
予選3位 #7 三宅淳詞選手 1分32秒992

## ■第1戦決勝レース(15周): 天候/曇り 路面/ドライ

公式予選終了後の午後1時40分、雲が流れる空の下で2019年シリーズ開幕戦決勝レースがスタートしました。スタート合図とともに上位はクリーンスタート、HFDPの3選手はグリッド順通りの1-2-3体制を固めました。中でも先頭に立った#7 佐藤のペースは良くじりじりと後続を離していきます。ところが4周目、#7 佐藤に続いていた#6 太田がモスSカーブで失速、そのすきを利用して#5 三宅がインに入り





ながらアトウッドヘアピンに進入したところ接触、#6 太田はグラベルに押し出される形でレースを終えました。#5 三宅は3番手へ順位を落としてレースを続けましたがその後接触に対してドライブスルーペナルティが下され、順位を大きく下げることとなりました。

首位の#7 佐藤は危なげなく走行を続行、2番手を約1秒5引き離したまま周回を重ね、15周を走りきってチェッカーフラッグを受けました。FIA-F4選手権シリーズ2年目の#7 佐藤にとって初めての優勝でした。

#### 【FIA-F4選手権シリーズ第1戦・レース結果】

#7 佐藤蓮選手 決勝1位 (23分31秒835 ベストタイム 1分33秒336)

#5 三宅淳詞選手 決勝14位 (24分07秒575 ベストタイム 1分33秒355)

#6 太田格之進選手 決勝リタイア (12周遅れ ベストタイム 1分33秒900)

(#5は危険なドライブ行為によりドライブスルーペナルティを受けた)

#### ■第2戦決勝レース (14周) : 天候/曇り 路面/ドライ



翌14日曜日は、朝から曇天となり細かい雨が落ち始める状況で第2戦のレースが始まりました。WET宣言は出されたものの路面はドライ状態で、全車ドライタイヤを履いてダミーグリッドにつき、フォーメーションラップが始まりました。

ところがスターティンググリッドにつく際、ポールポジションの#6 太田はSUPER GT用のグリッドを見間違えて本来自分が付くべきポジションを通りすぎてしまいました。これによりスタートはディレイと

なり、レースは1周減算のうえスタートやり直し、#6 太田はスタート手順違反となりグリッド最後尾への降格が決まりました。

再スタートの合図を受け、事実上のポールポジションから#7 佐藤が好スタート、先頭に立ってレースを始めました。2番手には#5 三宅が続きました。#7 佐藤は快調に首位を走り、その後方で#5 三宅は追いつがる後続車を押さえこみながら2番手を守ります。最後尾からスタートすることになった#6 太田は猛然と追い上げにかかりました。しかし4周目の第1コーナーで16番手を狙い、前を行くマシンのアウト側から抜こうとした際、内側から接触を受けコースオフしてレースを終えてしまいました



このアクシデントの復旧を行うため8周目までセーフティカーランとなりました。9周目に再スタートされた



後もトップの#7 佐藤は快調で、後続の#5 三宅を引き離そうとしました。ところがここで佐藤にはジャンプスタート判定が下り、ドライブスルーペナルティが科せられました。この結果11周目、繰り上がる形で#5 三宅が首位に立ちました。#5 三宅はテールトゥノーズ状態で後続車に攻められていましたが、トップに立ってからは落ち着いて自分のペースを取り戻し、その間隔をじりじりと拡げて、スタートディ

レイにより1周減算された14周を走りきってトップでチェッカーを受けました。FIA-F4選手権デビュー2戦目、自身初めての優勝でした。HFDPは、第1大会を連勝で終え、さい先の良い開幕となりました。

**【FIA-F4選手権シリーズ第2戦・レース結果】**

#5 三宅淳詞選手 決勝1位 (25分52秒097 ベストタイム 1分33秒320)  
#7 佐藤蓮選手 決勝20位 (26分33秒822 ベストタイム 1分32秒915)  
#6 太田格之進選手 決勝リタイア (11周遅れ ベストタイム 1分34秒074)  
(#7はスタート違反によりドライブスルーペナルティを受けた)

**■2019年FIA-F4選手権シリーズポイントドライバーランキング (2019シーズン第2戦終了時点)**

3番手 佐藤連 25点

3番手 三宅淳詞 25点

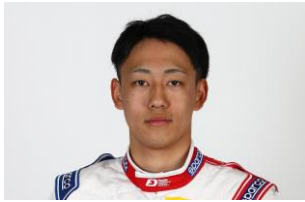
(1位25点、2位18点、3位15点、4位12点、5位10点、6位8点、7位6点、8位4点、9位2点、10位1点、)

**■2019年FIA-F4選手権シリーズポイントチームランキング (2019シーズン第2戦終了時点)**

1番手 HFDP 50点

(各チーム最上位のみ計上)

●ドライバーズコメント：#5 HFDP/SRS/コチラレーシング 三宅 淳詞

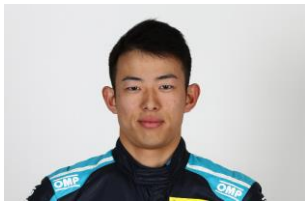


テストの段階からチームメイトに対してペースが悪くて焦りがあったので、第1戦では前の選手がミスしたとき、ぼくが無理に入って当たってしまいました。もったいないレースだったし相手にも迷惑をかけてしまったと反省しています。行けると思ったとき自分のペースに自信があれば状況をもっと冷静に見られたと思うんですが、一瞬の隙をモノにしたいという気持ちが先立

ってしまって無理をしてしまいました。完全にぼくのミスです。第2戦に関しては、運が良かったから勝ったというレースでした。再スタート後は、ぼくがSCのときにタイヤをうまく暖められなかったのが当初ペースが上げられませんでした。でも岡山は抜きにくいコースだと聞いていたので落ち着いて少しずつ自分のペースを上げることができたので、それはうまくやれたと思います。次の富士に向けてまだスピードでチームメイトに劣っているし富士ではバトルも多くなるだろうから、今回の反省をもとに富士のテストでいろいろ練習をしてレースでは実力で勝てるように頑張りたいです。



●ドライバーズコメント：#6 SRS/コチラレーシング 太田 格之進



週末に向けてクルマはすごくいい感じに仕上がっていました。ただ、ペースは良かったんですけど何もかも上手く噛み合わずひとつも満足のいくセッションを作ることができなかつたのが悔しいです。第1戦では少しミスをして失速して横並びになったとき、ぼくはブロックしたんだけど無理矢理入ってこられた形で横からどんと当てられた感じで終わりました。第2戦ではせ

つかくポールからのスタートだったのに、あんな形で終わってしまい、チームに申し訳ないという気持ちでいっぱいです。自分としてはいたって冷静だと思っていたんですが、ついスタート位置をGTのグリッドと見間違えてしまいました。これまでこんなことをしてしまったことはないし、なぜこんなことが起きたのかわかりません。結果はともかくこの週末、速さは見せられたかなと思いますけど、一からやり直したいです。



●ドライバーズコメント：#7 SRS/コチラレーシング 佐藤 蓮



第1戦で初めて勝って良かったです。シーズンオフには精力的にトレーニングや練習をして、気持ちをリセットしてフォーミュラカーの動き方をもう一度身につけて開幕に備えました。それがうまく速さ、結果につながったので成果は出たなと思います。気持ちも速さも去年の自分とは違うと自信があります。でも第1戦を自分で採点したら80点です。自分の中にはまだ、たとえば気持ちの部分で

足りなかつたりすることが多いんです。そういうところも補ってこのシーズンはどんどん強くなれるようにと思います。この1勝で自信がさらについて、シーズンを通して強く戦えるかなと思っています。第2戦はジャンプスタートしてしまいました。このコースはストレートが平坦なのでスタートのときブレーキを踏まなかつたんです。それで少し動いてしまったようで裁定が落ちてしまいました。今後はそういう細かいところにも気を配って確実なレースをしようと思います。

